

付録 26

イスラム（サブミッション）の三人の使徒

この付録は、以下の事項に関するコーランの数学的証拠を提示するものである。

[1] アブラハムがイスラーム、すなわち「神への服従（サブミッション）」の最初の使者であったこと（22:78）。[2] ムハンマドが、啓典（クルアーン）を伝達した使者であったこと（47:2）。[3] ラシャドが、宗教の正当性を証明する証拠を伝え、宗教を浄化・統合する使者であること（3:81、および付録 2）

永続的かつ検証可能な証拠

[1] 付録 2 で指摘されている通り、「アブラハム」のゲマトリア値は 258、「ムハンマド」は 92、「ラシャド」は 505 であり、これらを合計すると $258+92+505 = 855$ となり、これは「 19×45 」で割り切れる。

[2] さらに、ゲマトリア値が 211 である「イスマイル」と 169 である「イサク」を含めた場合でも、その合計値は $855+211+169 = 1235$ となり、「 19×65 」で割り切れる。これら 3 人（あるいは 5 人）の使徒の合計ゲマトリア値は、アブラハム、ムハンマド、ラシャドのいずれかが欠けても、クルアーンの「19」に基づいた数理コードとは一致しなくなる。

[3] 「アブラハム」という名が最初に現れるのは第 2 章 124 節、最後に現れるのは第 87 章 19 節である。最初の出現箇所から最後の出現箇所までについて、「章番号」+「節の数」+「各節番号の総和」をすべて加算すると、その総計は 333,260 となり、これは「 $19 \times 17,540$ 」となる（表 1 参照）。

表 1：アブラハムの最初の出現から
最後の出現までの章と節

章の 番号	節 の数	節番 総合	総合
-----	-----	-----	-----
2	163	33415	33580
3	200	20100	20303
4	176	15576	15756
5	120	7260	7385
-	-	-	-

9	127	8128	8264
-	-	-	-
84	25	325	434
85	22	253	360
86	17	153	256
87	19	190	296
----	----	-----	-----
3827	5835	323598	333260
			(19x17540)

[4] 付録2で説明されているように、神の「契約の使徒」の名は数学的コードを通してコンピュータ時代に示されているとされる。

もし過去の使徒たちのように名前がコーランに明記されていたなら、多くの人々が自分の子どもに「ラシャド・カリファ」という名前を付けてしまう。

そのため、語根「ラシャダ」はコーランの中に19回だけ登場すると述べられている（付録2）。

[5] 「アブラハム」は25の章に登場、「ムハンマド」は4つの章に登場、「ラシャダ」は9つの章に登場。合計： $25 + 4 + 9 = 38 = 19 \times 2$ （『クルアーン語彙索引』アブドゥル・バーキー著）

[6] アブラハム、ムハンマド、ラシャダが登場する章番号と、それぞれの出現回数を加えると： $1083 = 19 \times 19 \times 3$ （表2）

表2：アブラハム・ムハンマド・ラシャダの章と出現回数

章番号	アブラハム	ムハンマド	ラシャダ
2	15	-	2
3	7	1	-
4	4	-	1
6	4	-	-
7	-	-	1
9	3	-	-
11	4	-	3

12	2	-	-
14	1	-	-
15	1	-	-
16	2	-	-
18	-	-	4
19	3	-	-
21	4	-	1
22	3	-	-
26	1	-	-
29	2	-	-
33	1	1	-
37	3	-	-
38	1	-	-
40	-	-	2
42	1	-	-
43	1	-	-
47	-	1	-
48	-	1	-
49	-	-	1
51	1	-	-
53	1	-	-
57	1	-	-
60	2	-	-
72	-	-	4
87	1	-	-
---	---	---	---
991	69	4	19
$991 + 69 + 4 + 19 = 1083 = 19 \times 19 \times 3$			
ラシャダ は 19 回登場			
合計は $19 \times 19 \times 3$ (3 人の使徒)			

[7]「アブラハム」、「ムハンマド」、および語根の「ラシャダ」が言及されているすべての章において、「章番号」と、これら3つの単語がそれぞれの章で「最初に現れる節の番号」をすべて加算すると、その合計は2793となり、これは「19×147」で割り切れる（表3参照）。

表3：アブラハム・ムハンマド・ラシャダが最初に出現する章と節

章番号	アブラハム	ムハンマド	ラシャダ
2	124	-	186
3	33	144	-
4	54	-	6
6	74	-	-
7	-	-	146
9	70	-	-
11	69	-	78
12	6	-	-
14	35	-	-
15	51	-	-
16	120	-	-
18	-	-	10
19	41	-	-
21	51	-	51
22	26	-	-
26	69	-	-
29	16	-	-
33	7	40	-
37	83	-	-
38	45	-	-
40	-	-	29

42	13	-	-
43	26	-	-
47	-	2	-
48	-	29	-
49	-	-	7
51	24	-	-
53	37	-	-
57	26	-	-
60	4	-	-
72	-	-	2
87	19	-	-
---	---	---	---
991	1123	215	464
991+1123+215+464 = 2793=19×147			
※ 21:51 は重複加算しない。			

[8] これら3つの単語（アブラハム、ムハンマド、ラシャド）が現れるすべての「章番号」の総和（重複なし）と、すべての「節番号」の総和（重複なし）を足すと6479となり、これは「19×341」で割り切れます。該当する章は、2, 3, 4, 6, 7, 9, 11, 12, 14, 15, 16, 18, 19, 21, 22, 26, 29, 33, 37, 38, 40, 42, 43, 47, 48, 49, 51, 53, 57, 60, 72, 87です。これらの数字の合計は991となります（表3参照）。これら3つの単語が言及されている節（重複なし）は、2, 4, 6, 7, 10, 13, 14, 16, 17, 19, 21, 24, 26, 29, 31, 33, 35, 37, 38, 40, 41, 43, 45, 46, 51, 54, 58, 60, 62, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 74, 75, 76, 78, 83, 84, 87, 95, 97, 104, 109, 114, 120, 123, 124, 125, 126, 127, 130, 132, 133, 135, 136, 140, 144, 146, 161, 163, 186, 256, 258, 260です。これらの数字の合計は5488となり、以下の通り計算されます。 $5488 + 991 = 6479 = 19 \times 341$

[9] 「アブラハム」、「ムハンマド」、および「ラシャダ」という言葉が現れる箇所の「章番号」＋「節番号」＋「出現回数（または出現した節の数）」をすべて加算すると、その総計は7505となり、これは「19×395」で割り切れる（表4参照）。

表 4：アブラハム・ムハンマド・ラシャダが登場する節一覧（要約）

章	3つの単語が記載されている節			節の
番号	アブラハム	ムハンマド	ラシャダ	番号
----	-----	-----	-----	-----
2	124,125,126,127 130,132,133,135 136,140,258,260	-	186,256	14
3	33,65,67,68 84,95,97	144	-	8
4	54,125,163	-	6	4
6	74,75,83,161	-	-	4
7	-	-	146	1
9	70,114	-	-	2
11	69,74,75,76	-	78,87,97	7
12	6,38	-	-	2
14	35	-	-	1
15	51	-	-	1
16	120,123	-	-	2
18	-	-	10,17,24,66	4
19	41,46,58	-	-	3
21	51,60,62,69	-	51	5
22	26,43,78	-	-	3
26	69	-	-	1
29	16,31	-	-	2
33	7	40	-	2
37	83,104,109	-	-	3
38	45	-	-	1
40	-	-	29,38	2
42	13	-	-	1
43	26	-	-	1

47	-	2	-	1
48	-	29	-	1
49	-	-	7	1
51	24	-	-	1
53	37	-	-	1
57	26	-	-	1
60	4	-	-	1
72	-	-	2,10,14,21	4
87	19	-	-	1
---	---	---	---	---
991	5068	215	1145	86
$991+5068+215+1145+86 = 7505 = 19 \times 395$				

以上の計算結果からアブラハム・ムハンマド・ラシャドの三人がサブミッション（イスラム）の使徒であることが、コーランの中に数学的にコード化されている

[10] 表4に示されている通り、語根「ラシャダ (Rashada)」の19回の出現箇所は、第186、256、6、146、78、87、97、10、17、24、66、51、29、38、7、2、10、14、および21節です。これらの数字を構成する桁数は、合計で38桁となり、これは「 19×2 」となります。

[11] 表4は、「ラシャダ」という語根が現れる19箇所の節の節番号の合計が1145であることを示している。この節番号の合計（1145）に、名前「ラシャド」のゲマトリア値（505）と、名前「カリファ」のゲマトリア値（725）を加えると、 $1145 + 505 + 725 = 2375$ となり、これは 19×125 である。

[12] これらの数字を並べて書く、つまり節番号の合計（1145）の後に「ラシャド（505）」、さらに「カリファ（725）」を続けて書くと、次の数になる： 1145505725 この数もまた19の倍数であり、 $1145505725 = 19 \times 60289775$ となる。

ラシャダ 出現節番号合計：1145

ラシャド のゲマトリア値：505

カリファ のゲマトリア値：725

$$1145 + 505 + 725 = 2375 = 19 \times 125$$

$$1145 \ 505 \ 725 = 1145505725 = 19 \times 60289775$$